

岡山

サイクロン直撃 南太平洋支援 AMDAが街頭募金

大型サイクロンの被災者のために
募金するお年寄り



大型サイクロンが直撃した南太平洋での支援活動に役立てようと、国際医療ボランティア(本部・岡山)が、25日、岡山高島屋前(同本町)で街頭募金を行

った。
ボランティアら10人が1時間実施。「ご協力をよろしくお願います」と声を上げると、通行人が浄財を寄せていた。寄付を呼び掛けた岡山大付属中3年岡本茅子(かほ)さんは、「ニーズでは取り上げられる機会が減っているが、被害が深刻になっていないか心配。被災者の役に立ちたいし、多くの人に現地を気にかけていてほしい」と話した。

AMDAはこれまでに2人を被災地に派遣。調整員大政朋子さんは24日午後、ツバルに入り、飲料水や医薬品、食料などを届けた。看護師山崎希さんは42はバヌアツとキリバスでの支援を視野に、フィジーでニーズの把握など情報収集を続けている。

(平田知也)